

病害虫発生予察情報

4月月報

平成 20 年 5 月 19 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況

2008 年 4 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比 (%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	16.9	0.9	6.8	0.0	12.1	0.6	140	329	63.4	119
中旬	19.2	1.4	10.4	2.1	14.3	1.2	101	222	36.1	66
下旬	21.1	0.7	11.5	1.0	16.0	0.6	9	26	53.4	88
平均	19.1	1.0	9.6	1.1	14.1	0.8				
合計							250	203	152.9	91

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・下旬は平年並みで、中旬はやや高かった。

降 水 量：上・中旬は多く、下旬は少なかった。

日照時間：上・下旬は平年並みで、中旬はやや少なかった。

<天候概況>

上旬：1日から6日まではおおむね晴れたが、7日から8日と10日は低気圧の影響により雨となった。

中旬：低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。特に18日は大雨となった。

下旬：期間のはじめと終わりは高気圧に覆われ晴れたが、その他の期間は曇りや雨となった。

2 作物生育概況

(1)野菜類

果菜類：促成イチゴ、促成・半促成トマトの生育は概ね順調である。また、苗の生育も順調である。エダマメは施設では生育がやや早い傾向にあるが、露地では低温の影響でやや遅れている。スイートコーンについては概ね順調な生育を示している。

葉菜類：キャベツ、ブロッコリーの生育は順調である。トンネルのハウレンソウでは一部の地域で換気遅れによる高温障害がみられたものの、全体としては順調である。施設栽培のコマツナは概ね順調であったが、露地栽培では一部で湿害による生育不良がみられた。

(2)果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。開花始は殆どの品種で平年より3～4日早まった。これに対し開花盛が平年より約1日早まったにとどまったのは、開花期に低温が続いたためと思われる。

新高:開花始4月4日(-3日)、開花盛4月9日(-3日)
 幸水:開花始4月11日(-3日)、開花盛4月16日(-1日)
 豊水:開花始4月9日(-3日)、開花盛4月15日(±0日)
 稲城:開花始4月4日(-4日)、開花盛4月12日(-1日)
 秀玉:開花始4月10日(-3日)、開花盛4月16日(-1日)
 あきづき:開花始4月11日(-3日)、開花盛4月16日(+2日)

(3) 茶樹

気温が平年並みからやや高めに推移したため、萌芽黄は3~4日早く生育は順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) イネ・ムギの病虫害

特記事項なし

(2) 果樹の病虫害

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハマキムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ウメ

アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
カイガラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

カキ

カキクダアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
-----------	-------	-----------

果樹共通

チャバネアオカメムシ < 発生時期: やや早 発生量: 少 >

昨年のスギ・ヒノキ球果は少ないと推定されることから、越冬世代の成虫密度は低いと思われる。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
---------	---------	-------------

(4) 野菜の病虫害

トマト(施設)

モザイク病	< 並 >	発生は平年並であった。
灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
葉かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ(育苗)

タネバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。

ナス(育苗)

ナミハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ(施設)		
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ(露地)		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ(施設)		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギ		
さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< やや多 >	発生はやや多かった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
トビムシ類	< 並 >	発生は平年並であったが一部地域のコマツナ、ハウレンソウなどで発生がやや多いところが見られた。
クローバーハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。
(5)花きの病害虫(施設)		
キク		
ナモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ガーベラ・ペチュニア・マリーゴールド・ダリア		
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ミカンキイロアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
(6)植木の病害虫		
ケヤキでケヤキヒゲマダラアブラムシの発生が多い。2005 年以降の多発生である。6 月中旬ま		

で発生が継続すると思われる。

(7) 島しょの病害虫

大島：サヤエンドウでうどんこ病とハモグリバエ類、ガーベラでハモグリバエ類の発生が多かった。

八丈島：アシタバでクワゴマダラヒトリ、アブラムシ類およびカタツムリ類、ロベでクワゴマダラヒトリの発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	4月15日	5月15日	0	0
大田市場	4月15日	5月15日	0	0
板橋市場	4月15日	5月15日	0	0
淀橋市場	4月15日	5月15日	0	0
足立青果市場	4月15日	5月15日	0	0
小平青果市場	4月8日	5月7日	0	0
八王子北野市場	4月7日	5月8日	0	0
昭島市場	4月7日	5月8日	0	0
国立市場	4月7日	5月8日	0	0
東久留米市場	4月8日	5月7日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。